

## 塩原と文学のつながり

塩原を訪れる観光客の数は、新しい道路が開通した 1884 年に劇的に増加し、その後 1886 年に西那須野駅への鉄道が敷かれた。1880 年代後半から 1930 年初頭にかけて、多くの優れた文学者たちが頻りに塩原を訪れた。その中には、詩人の与謝野晶子（1878～1942 年）、小説家の夏目漱石（1867～1916 年）、谷崎潤一郎（1886～1965 年）がいた。人里離れた環境が、温泉の歴史、雰囲気、健康効果と相まって、彼らの創造的なエネルギーを刺激したようで、それぞれの作家が滞在中に本の執筆を完成させている。塩原のいたるところに、これらの作家に関する情報が刻まれた石碑が数多くある。それらの場所は、地図上に赤い点で示されている。